

令和元年度「公立大学法人広島市立大学の業務実績に係る評価結果」における評価委員会意見の反映状況について

区分	小項目（評価委員会による評価）		評価委員会意見の反映状況
	評価委員会による意見・コメント等	掲載頁	
教育研究等の質の向上	大学院教育（B）		
	○平和学研究科の設立・充実は広島にふさわしい。今後とも認知度の向上と留学生を含めて学生数の増加を進めていただきたい。	15	令和2年7月に広島平和研究所及び平和学研究科のウェブサイトを更新し、広報体制を強化した。オンラインで実施した進学説明会では、中国、韓国、オーストラリアからの参加があった。他にも、約7,800の加盟都市に配信される平和首長会議のメールマガジンで平和学研究科の広報を行ったり、留学生を対象とした奨学金制度を設立した。 令和2年度に実施した入試では、博士前期課程の志願者数は8人（うち留学生1人）、博士後期課程の志願者数は3人であった。
	国際交流の推進（S）		
	○現在のコロナの影響による学生への対応は難しいところがあるものの実績をベースに留学生の環境を引き続きサポートしていただきたい。	46	コロナ禍を受け、令和2年度は海外学術交流協定大学との学術交流事業は停止となったが、4大学とオンラインで国際交流・異文化理解プログラムを実施した。留学促進の取組としての効果が見込めたため、令和3年度は拡充し実施している。なお、海外学術交流協定大学については、令和2年9月にシラパコーン大学（タイ）と新たに協定を締結した。
業務内容の改善及び効率化等	財務内容の改善（B）		
	○外部資金の獲得に尽力している。今後、外部資金を増加させるためには、競争的資金の獲得、企業との共同研究を支援する体制の整備、研究者の啓蒙とインセンティブが必要である。	54	科研費獲得支援制度として、科研費の採択件数が多い教員に申請書の書き方等のアドバイスを受けることができる「アドバイザー制度」、過去に採択された科研費の申請書類を閲覧できる「申請書閲覧制度」、及び科研費に申請し不採択となった場合に次年度の科研費応募を条件として申請できる「科研費獲得支援研究費」の配分を実施し、本学における科研費の採択率の向上と研究促進を図っている。また、教員の積極的な外部資金獲得の奨励及び研究支援を目的として、科研費等外部資金を獲得した教員等に対する研究費の追加配分を行っている。 そのほか、産学連携研究発表会での教員と企業等とのマッチングセッションを設けたり、本学ウェブサイト内で教員の研究分野や研究概要等を紹介するなど、企業等との共同研究の支援を実施している。